

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	11.30(火)	浜中央	発言者A	スライド資料9ページ、適正化を検討する学校の、牛滝の谷地域に山直北小学校が入っていないが、実際は入っているのでは。	適正化を検討する学校を記載しているページになるので、適正化対象校ではない山直北小学校の記載はしていないということでご理解願う。
2	11.30(火)	浜中央	発言者A	チビッコホームがどうなっていくのが心配。特に（仮称）山直小学校ではチビッコホームの大規模化が危惧される。例えば子どもたちが遊ぶスペースが確保されるのか、という点を心配している。資料の中にはチビッコホームに関する記載がなかったので、どういった形になるのか教えてほしい。	チビッコホームに関しては、市長部局で所管しているが、実施計画（案）策定にあたり、担当部局とも十分に協議を重ねてきたところ。 子どもたちの活動場所については、例えば（仮称）山直小学校で一時的に学級数が増加する時期においても、教育委員会と市長部局が協議しながら、確保していく。 また、（仮称）山直小学校であれば、現在再編の方向性を示している山直北幼稚園や、老朽化や利用率の低下が課題である山直北プールの敷地についても、今後の再編と整合性をとりながら、条件が整えば、活用を視野に入れていきたい。
3	11.30(火)	浜中央	発言者A	ちょうど子どもが今年度で中学1年生になった。小学校のときには勉強もスポーツもできる方ということで、胸を膨らませて進学したものの、やりたかった部活動がコロナウイルスの影響によりできず、とてもへこんでいた。最初は学校にも行きたくないという状態で、勉強も全然、という状況だった。 小学校と中学校の違いとして感じたところが、担任の教員と話をする機会が少ないのでは、ということ。 実際に小中一貫教育基本方針の説明を受けたが、小中一貫教育が実施されることで、そのあたりが改善されるかといえば難しいのではないかという印象を受けており、小中一貫校になれば、教員の時間がさらになくなるのではないかと心配している。 保護者としては、子どもには大人と関わる時間を増やしてほしいと考えており、この方針はそれにつながらないのでは、と思う。	小中一貫教育基本方針は、小中一貫校に限った方針ではなく、岸和田市にある11中学校区すべてで小中一貫教育を行うという方針であり、これまで実施してきた小中連携教育から小中一貫教育に発展させていくイメージである。 仮に小中一貫校が設置された場合、それに合った小中一貫教育を検討する必要があることから、現在小中一貫教育推進会議において、議論を重ねているところ。 また、教員の負担が増加するのではないかと懸念について、現状でも教員の業務量は非常に多く、子どもたちと触れ合う時間が十分に取りにくい現状であり、働き方改革が必要だと認識している。 小中一貫教育の取組に際しては、初めての取組となることから、当初は戸惑う可能性もあるが、可能な限り教員の負担増にならないよう、教育委員会もしっかりとサポートしていく。
4	11.30(火)	浜中央	発言者A	現在も小中連携はしているという説明であったが、具体的にどういった取組をしているのか教えてほしい。 一般の保護者としては、小学校教員が中学校に行き行って授業することも知らなかったもので、こういった説明会では、そのようなことも詳しく教えてほしい。	これまで実施してきた小中連携としては、同じ中学校区の小・中学校教員が集まり実施する合同研修や、小・中学校教員間の情報共有、中学生による小学校での職業体験、また部活動の一環で、小学生や幼稚園児と一緒に遊ぶといったことが挙げられる。
5	11.30(火)	浜中央	発言者B	以前から、適正規模・適正配置の取組は知っていたが、小中一貫教育基本方針の中身は本日初めて伺った。市全域での取組だということだが、今後、市全体で、小・中学校を一体的な施設にしていくという理解でよいのか。	適正規模・適正配置の取組と並行して、市全域での小中一貫教育の取組を実施していく。 小中一貫教育を進める上で、小・中学校が同一の敷地にある、もしくは隣接している方が、子どもたちや教員相互の交流が、より容易になるメリットがあると認識しているが、現在の小・中学校をすべて施設一体型小中一貫校にすることは物理的に困難だと考えている。その場合、施設分離型での小中一貫教育を実施していく。

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
6	11.30(火)	浜中央	発言者B	必ずしも施設一体型、もしくは分離型というわけではなく、隣接型もあると理解したが、隣接型とはどのような形態を想定しているのか。	同じ敷地内で、小・中学校の校舎が一体的に設置されている形態を「施設一体型」とし、同じ敷地、もしくは隣接した敷地において、小・中学校の校舎が分離している形態を「隣接型」としている。「分離型」は、小・中学校が完全に分かれている形態を表している。
7	11.30(火)	浜中央	発言者B	では、岸和田市としては、施設一体型もしくは隣接型の小中一貫校の設置をめざしていくと捉えればよいか。	小中一貫教育を実施する上で、施設一体型もしくは隣接型の方が望ましいと考えているが、そうすることが物理的に難しい校区もある。そういった校区においては、従来の分離型での小中一貫教育をしっかりと実施していく。
8	11.30(火)	浜中央	発言者C	学校の小規模化についての課題を示されているが、浜小学校や中央小学校のような小規模な学校に魅力を感じている。 やはり、1人の教員が35人や40人といった大勢の児童生徒をみるよりも、少ない人数の方が丁寧に指導できる。ヨーロッパでは15人程度が普通であり、日本は異常な状況。	きめ細かな指導といった小規模校の良さは認識している。 一方、適正規模・適正配置の取組については、学校全体の児童生徒数である「学校規模」を確保しようというものであり、1クラスあたりの児童生徒数である「学級規模」の議論とは異なる。 現在、国において、小学校の35人学級化を順次進めているところだが、さらなる少人数学級が必要だと考えており、都市教育長会議を通じて、国や府に対して30人学級の実現に向けた要望活動を行っている。 学校規模について、多様な意見・考え方に触れ、突き合わせながら、協議の上で新しいものを見出していくという力が一層必要となる社会において、小規模校ではどうしても同じ仲間の限られた意見になってしまう課題があると捉えている。 例えばグループ学習において、グループ間で討議をし、互いの意見で良いところを取り入れ、指摘もしながら、学習効果を高めていくといった、主体的・対話的で深い学びが求められている。そのためには、やはり一定の学校規模を確保することが望ましいと考えている。
9	11.30(火)	浜中央	発言者C	小学校が統合された場合、これまでの地域コミュニティにおける取組を継続できるのか疑問。だんじり祭が盛んな地域だが、今後継続して実施できるのか心配している。	【ご意見として承る】
10	11.30(火)	浜中央	発言者C	小規模校を統合するのではなく、良いところを伸ばして行ってほしい。大規模校では登校拒否等の問題があるが、小規模校では丁寧にケアできる。 少子化が全国的な課題となる中、子育てするなら岸和田へ、とアピールできるような施策を進めてほしい。最近の若い保護者は自治体の評判をネットで調べて転居先を決めたりするので、岸和田城や、本町のまちなみといった岸和田の良さを残す方向でまちづくりを進めて行ってほしい。	岸和田市において、学校規模の大小と、学力や、不登校の数との相関関係はみられない。学校規模に関わらず、どの学校においても、しっかりと対応していく必要があると認識している。

番号	日付	校区	発言者	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
11	11.30(火)	浜中央	発言者D	<p>学習塾を経営しており、対面教育が難しい現在、オンライン教育におけるご苦労、また教育委員会や現場の教員が抱えるご苦労も理解するが、子どもたちの声をまず聴いてほしい。</p> <p>子どもたちが教員に何か相談をしようとしても、忙しいとして相談に乗ってくれないということや、家庭での自主学習においても、タブレットを活用できていないケースも多くなる。オンライン教育をしっかりと実施できている家庭もある中、学習格差が拡大している。</p> <p>学校の適正規模を確保し、多くの子どもたちとコミュニケーションを図ることは、心にゆとりを持った子どもたちであれば良いことだと思うが、大規模な中学校において心が乱れ、学校が荒れている事例も把握している。問題行動を起こした生徒が補導された際の経緯から、保護者と教員間にも亀裂が生じたことや、定期テストで0点を取る子どももいると伺っている。そのような生徒は受け入れられないと、近隣の学習塾に断られたという話も聞く。</p> <p>教育相談に関して、天神山町の教育センターで行っているが、遠く、利用しにくい。身近なスクールカウンセラー、教員についても、心の調子を崩していると聞く。近所で評判が立つといけなないので、遠方の心療内科に通う子どもと保護者がいるとも伺っている。</p> <p>きちんと規律正しく生活できれば、大規模校であっても問題なく学習できる。実際、大規模な私立一貫校では十分に学力が醸成されている。小規模校でも、大規模校でも、まずは心が育っていなければ、教育はできない。</p> <p>教員が悩んでいるのであれば、地域の方々や、身近な元教員などを頼ってほしい。岸和田市は高齢者が多いと言われているが、経験豊かな方がいるということ。人は、誰かに話を聞いてもらうだけで安定する。</p> <p>もっと保護者や子どもたちの声を聞いてほしい。その中で、明石市のような子育て支援策を展開してほしい。また、教員の心が疲弊しているのであれば、相談できる場所を用意するべき。子どもたちも、例え学校に行けていなくても、学習塾で相談してくれる場合がある。子どもや教員の心の叫びを受け止められる場が必要だと考える。</p>	<p>特定の学校名は申し上げられないが、大規模校の中にも、いじめや不登校の報告件数が少ない学校がある一方で、比較的多い学校もある。</p> <p>また、家庭学習の格差問題についても認識している。学校と家庭が連携し、子どもの声を聴きながら丁寧に指導しているところ。その中で、教員の業務量はどの学校においても非常に多く、疲弊しているという状況があるため、働き方改革の方策について、意見交換を行いながら検討している。</p> <p>子どもたちの心を育てることが学校の役割であり、教員の仕事である。今後も、情熱と愛情を持って子どもたちに接するように発信していく。</p> <p>なお、教育委員会の中だけで各種方策を進めていくわけではなく、指導主事が学校現場に足を運び、話を伺っているが、何か問題が生じた学校があれば、継続して学校訪問を行っているところ。課題は一朝一夕で解決されるものではないが、引き続き対応に努めていく。</p> <p>地域にもっと頼るべきというご意見は非常にありがたく、実際に学校現場で指導していた時期にも、地域の皆様には様々な形で多大なお力添えをいただいていた。学校だけで対応できない部分について、地域の皆様に助けていただくことはどの学校においてもあると認識しているので、今後とも連携していただければ幸い。</p>
12	11.30(火)	浜中央	発言者E	<p>説明の中で、中央小学校と浜小学校の単純合併ではいけないといった話があったかと思うが、なかなか具体的にイメージしにくいので教えてほしい。</p>	<p>中央小学校と浜小学校の学校規模を踏まえると、仮に両校を統合したとしても、令和10年度で約230人の学校規模となり、適正な学校規模には至らない。</p> <p>よって、両校だけではなく、例えば近隣にある小学校の通学区域を見直すといった方策も含め、今後地域や保護者の皆様と協議を進めながら、具体的な案をお示ししていきたい。</p>
13	11.30(火)	浜中央	発言者E	<p>少子化を含め、地域にとって非常に大きな問題だと思うが、説明会の出席者が少ない。どのくらいの人を対象にしていたのか。また、今後の進め方におけるイメージも教えてほしい。中央小学校と浜小学校に関する計画は決まっているのか、何も決まっていないのかも含めて説明願う。</p>	<p>今回の地域説明会は、校区に住む、地域や保護者の皆様を対象としている。</p> <p>現時点で、中央小学校と浜小学校は、小規模校として適正化を検討する対象となっているが、山手地域では小学校だけではなく、中学校の小規模化も進んでいることから、第1期計画として優先的に取り組む必要がある。中央小学校と浜小学校の適正化についても、第1期計画の進行と並行しながら、第2期計画（案）の策定に向けて取り組んでいきたい。</p>
14	11.30(火)	浜中央	発言者E	<p>では、具体的には何も決まっていなくてよいのか。</p>	<p>お尋ねのとおりである。</p>